

施設全体目標
・余裕をもって保育が出来るように、職員間で声を掛け合いながら助け合っていく
・個人情報の取り扱いには十分注意する
今年度の取り組みの評価
・子どもの権利について、個々の意識は高まっているが園全体として声を掛け合えるまでには達していない。また、余裕をもって保育が出来ることが、子どもたちへの肯定的な関わりへと繋がっていくと感じているので、来年度に向けて職員同士のフォローも大切にしていきたい。

※自己評価実施後の施設ミーティング等で取り組んでみましょう

A B C Dの欄に○を付けてください

A：理解して十分に取り組んでいる B：概ね取り組んでいる

C：理解が不足し十分に組み組めていない D：取り組めていない

R6年 7 月 9 日

R7年 3月 22 日

項目	内容	評価				意見・改善案	評価				意見・改善案
		A	B	C	D		A	B	C	D	
子どもの権利の尊重	子どもの権利について職員全体で確認し、十分配慮している		○			・子どもの権利を意識し、個々の理解も深まっているが、余裕がなくなり否定的な言葉が出てしまう事もあるので、声を掛け合いながら更に意識していく。 ・個人情報が含まれている内容を共有する時は、時間帯（特に送迎時など）には十分に注意する。		○			・子どもの権利に対する意識は高まっているが、十分かと言われるとまだ十分できていないと言えない。 ・人権チェックリストを各自で確認し、全体でも話し合い、意識が高まるように取り組んでいる。 ・場合により、感情をコントロールできず、態度に出てしまうことがあるので互いに声を掛け合っていく。
	保育者は子どもに対して威圧的、命令的、否定的な言葉づかいをしていない		○					○			
	長期欠席の子どもの状況把握をしている	○					○				
	子どもの様子が気になることは関係機関に報告している	○					○				
	個人情報保護について職員全体で確認し、十分配慮している		○				○				
健康・安全	乳幼児期にふさわしい食生活が展開され、適切な援助が行われるように、食事の提供を含む食育の計画を作成し、保育の計画に位置づけるとともに評価・改善に取り組んでいる	○				・アレルギーの子はいないが個々でマニュアルに目を通し把握しておくようにする。 ・午睡中はうつぶせ寝になっている子の向きを変えたり、ずっと仰向けの子も定期的にトントンしたりするなどして、様子を見守ることを徹底する。 ・食事はしっかりとテーブルに付き援助しているが、まだ1口量を分かっておらず、口に詰め込み過ぎそうになる子どももいるので気をつけていくようにする。	○				・午睡チェックの時間になるまでの間に、うつぶせ寝になっている子どもに気付かないことがないように、みんな意識、声かけをしていく。 ・その場を離れる際など、他の保育士に声を掛けていくなど意識した。 ・戸外での安全点検を忘れずに行う。 ・マニュアルを、みんなが読めるようにチェック表を用意した。
	アレルギー対応マニュアルが整備されており、マニュアルに沿って対応している	○					○				
	子ども一人一人の生活リズムや体調を考慮し、睡眠・食事・遊びのバランスをとっている	○					○				
	定期的に子どもの呼吸・体位・睡眠状態を観察し、睡眠時チェック表に記録している	○					○				
	子どもが睡眠しているときは必ず保育者が保育室にいる	○					○				
	保健（衛生管理・感染症対策等）に関するマニュアルが整備されており、マニュアルに沿って対応している	○					○				
	年齢発達に合わせて、ぶくぶくうがいや正しい歯みがきの方法を指導している										
	家庭や地域との連携を図りながら子どもの健康増進に取り組んでいる		○					○			
	早寝早起き、朝食を食べる等の生活リズムを整えるとともに、1日3食野菜を食べる等望ましい食習慣の大切さを家庭に伝えている		○					○			
	施設内外や園外保育先の安全点検を実施してから子どもを遊ばせている	○					○				
	緊急時にも対応できる職員体制が整っており、役割分担が決まっている	○					○				
	子どもが危険な場所や災害時の行動の仕方が分かり、安全に配慮して行動できるよう、計画的に教育・保育を実施している	○					○				
地域と連携した子育て支援	第三者評価、利用者アンケートに取り組み、その結果を保護者に伝え、教育・保育の改善に活かしている	○				・利用者アンケートを共有して保育の改善に活かしている。	○				・利用者アンケートの結果を共有し、計画を立てる際の参考にしている。 ・地域の子育て支援についてもしっかりと把握していきたい。
	区や市、地域で行われている子育て支援施策を理解し、必要とする家庭と関係機関につなげている		○					○			
	施設が実施している子育て支援事業の情報を積極的に発信している		○					○			